



各位

上場会社名 株式会社 ヤマウ
 代表者 代表取締役社長 中村 健一郎
 (コード番号 5284)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 隈江 芳博
 (TEL 092-872-3301)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	370	360	370	82.19
今回修正予想(B)	7,142	285	166	195	43.51
増減額(B-A)	642	85	194	175	
増減率(%)	9.9				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	7,597	36	30	12	2.77

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	80	85	18.88
今回修正予想(B)	5,701	89	79	17.67
増減額(B-A)	1,001	169	164	
増減率(%)	21.3			
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	5,562	81	52	11.75

修正の理由

(1)個別

当第2四半期累計期間の個別業績につきましては、政府による経済政策等により、前年度に引き続き公共工事が増加した状況下において、売上高が堅調に推移しました。その結果、個別業績において前回発表した予想数値を上回り、黒字化の見込みとなりました。

(2)連結

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、水門・堰の製造及び施工並びに保守事業において、下期偏重の特性が著しいことから利益面ではマイナスになります。しかしながら、主力のコンクリート製品製造・販売事業において、売上高が堅調に推移した結果、連結業績において前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、現時点において連結・個別とも前回公表の下記業績予想に変更はありません。

(通期業績予想)

連結業績・・・売上高19,000百万円、営業利益630百万円、経常利益620百万円、当期純利益350百万円
 個別業績・・・売上高13,000百万円、経常利益450百万円、当期純利益250百万円

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上